
提 案 書

令和9年度広島県予算について



音戸の瀬戸公園の再整備 イメージパース



呉市・広島大学Town & Gown Office開所記念式典

広島県 呉市

2 呉市・広島大学による海洋・海事の拠点形成 (教育・研究・社会連携拠点の整備等)

経営戦略審議官・商工労働局

提案の要旨

呉市・広島大学Town&Gown構想による海洋・海事に関する国際的な教育・研究・社会連携拠点の形成に向けた支援をお願いします。

現状及び課題

四方を海に囲まれ、海洋国家としての歴史を有する日本は、海洋に関するあらゆる分野に関係性を有し、海は極めて重要な役割を果たしています。

呉市は、瀬戸内海のほぼ中央部に位置し、海洋・海事に関わるものづくりや海運業の伝統とともに、造船、船用工業等の瀬戸内海事クラスターが形成されています。

また、海上保安大学校や広島県立総合技術研究所水産海洋技術センター、呉市海事歴史科学館（大和ミュージアム）、国立大学法人広島大学（以下「広島大学」といいます。）の練習船基地など教育・研究機関の集積もあり、海とともに発展する海洋文化都市として、大きなポテンシャルを有しています。

一方で、大手企業事業所の休止や、人口の減少等により、呉市の経済は大きな影響を受けています。また、呉市の産業を支える造船、船用工業、海運業等の海洋・海事関連産業においては、国際的に激化する競争への対応と、人材の確保という点が課題として挙げられています。

こうした中で、呉市と広島大学は、自治体と大学が一体となって、地域課題に取り組むことで、ともに発展を続ける仕組みであるTown&Gown構想を推進し、海洋・海事に関する国際的な教育・研究・社会連携拠点の形成に向けて取り組んでいくこととしました。

取組状況等

令和5年	7月	呉市、広島大学、海上保安大学校及び笹川平和財団の4者で「呉市、広島大学、海上保安大学校及び笹川平和財団の呉市・広島大学Town&Gown構想の推進に向けた海洋・海事の国際的拠点の形成等に関する協定」締結
令和5年	7月	広島大学が世界海事大学(WMU)と連携に係る意向書を締結
令和6年	1月	呉市・広島大学Town&Gown構想 海洋文化都市くれ推進協議会設立 【参画団体 83団体(令和8年3月末現在)】 国(国土交通省中国地方整備局、中国運輸局)、広島県、教育・研究機関、関係団体・企業等
令和6年	3月	広島大学が海上保安大学校及び全国五つの商船系高等専門学校と包括協定を締結
令和7年	4月	呉市・広島大学Town&Gown Officeを呉市役所に設置
令和7年	5月	国会議員、財務省、文部科学省及び国土交通省に要望
令和7年	10月	広島大学海洋・海事未来研究所を呉市に設置
令和7年	12月	呉市が海洋文化都市くれ推進基金を設置
令和8年	2月	広島大学の「海洋リモートセンシング技術を核とした海洋文化都市共創拠点」プロジェクトが国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)の「共創の場形成支援プログラム(COI-NEXT)」の本格型に採択

その他、アジア太平洋船舶海洋構造工学会議(Team2024)、世界船舶海洋工学フォーラム(World NAOE Forum)及び日本船舶海洋工学会の海洋教育フォーラムを呉市内で開催

また、令和8年に(一社)日本リモートセンシング学会秋季学術講演会、令和9年に国際海洋リモートセンシング会議(PORSEC)を呉市に誘致し開催予定

提案の内容

○ 海洋・海事に関する国際的な教育・研究・社会連携拠点の形成に向けた支援

呉市・広島大学Town&Gown構想の取組は、令和5年4月28日に閣議決定された「第4期海洋基本計画」に掲げられた「総合的な海洋の安全保障」、「持続可能な海洋の構築」や、主要施策として掲げられている「海洋の産業利用の促進」、「科学的知見の充実」、「海洋におけるDXの推進」、「国際連携・国際協力」及び「海洋人材の育成・確保と国民の理解の増進」とも合致するものと考えています。

また、令和7年12月、国は、2035年に必要な我が国の船舶建造能力確保を目指す「造船業再生ロードマップ」を策定、その中で、造船人材の確保・育成のため、大学、産業、地域等の連携による高度人材の育成に取り組むこととしています。

こうした国の政策とも合致する、呉市、広島大学、海上保安大学校及び笹川平和財団が進めるTown&Gown構想による海洋・海事に関する国際的な教育・研究・社会連携拠点の形成に向けて、格別の支援をお願いします。

○ 広島大学の海洋・海事に係る教育・研究・社会連携拠点施設の整備への支援

広島大学は、呉市において、令和7年10月の広島大学海洋・海事未来研究所の設置を始め、令和8年度には広島大学海洋リモートセンシング技術センター、令和9年度には大学院における海洋・海事学位プログラムの構築を検討するなど教育・研究拠点の整備を進めているほか、将来的には、海外からの多くの研究者や留学生などの受入れ等にも対応できる拠点施設の整備を検討しています。こうした知の集積は、呉市が海洋・海事の世界的な拠点として発展していく上で不可欠であることから、広島大学の海洋・海事に係る教育・研究・社会連携拠点施設の整備に対し、格別の支援をお願いします。

○ 広島大学の「海洋リモートセンシング技術を核とした海洋文化都市共創拠点」プロジェクトへの支援

令和8年2月に国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）の「共創の場形成支援プログラム（COI-NEXT）地域共創分野（本格型）」に、広島大学の「海洋リモートセンシング技術を核とした海洋文化都市共創拠点」プロジェクトが採択されました。今後は、呉の海域を実証フィールドとして、広島大学の海洋リモートセンシング技術を核に、自律型安全運航研究や防災レジリエンス研究、スマート環境調和型養殖及び共創型ELSI（科学技術の倫理的・法制度的・社会的課題）研究について、広島大学、呉市、建設コンサルタント事業者及び参画機関などと議論を進め、若者が誇れる、挑戦できる地域を目指していきます。その中で、かき養殖業発展のための新養殖管理システムや造船業発展のための新運航システム、海運業発展のための新海運システムの開発などを検討しています。

広島大学の「海洋リモートセンシング技術を核とした海洋文化都市共創拠点」プロジェクトに対し、県立総合技術研究所水産海洋技術センターによる技術的助言など、格別の支援をお願いします。



呉市、広島大学、海上保安大学校及び
笹川平和財団4者協定締結



倉橋島のかき筏と抑制棚